

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》平成28年度事業 評価シート

施策コード 168

| | |
|-----|---------------------------------|
| 事業名 | 男女共同参画センターにおけるフェスティバルの開催、情報誌の発行 |
| 担当課 | 男女共同参画課(男女共同参画センター) |

1 事業の概要

| | | | | | | | |
|------------|--|--------|---|----------|-------|------|---|
| 基本目標 | Ⅲ | 基本的な課題 | 7 | 施策の方向 | ① | 施策番号 | 1 |
| 当初予算額計(千円) | 2,230 | | | 決算額計(千円) | 1,916 | | |
| 事業の概要・目的 | 【男女共同参画フェスティバル】 県民に男女共同参画への理解を深めていただくことを目的とした「男女共同参画フェスティバル」を開催する。 【情報誌の発行】 男女共同参画を推進するため、男女共同参画センターの事業内容や男女共同参画に関する情報等を掲載した情報誌を年2回(各12,000部)発行する。市町村や男女共同参画関連施設等への配布及びホームページへの掲載のより、広く県民に対し広報・啓発を行う。 | | | | | | |
| 指標名等 | 数値目標など ①社会全体で男女の地位が平等となっていると思う人の割合(男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査) ②女性の権利に関する法制度の認知度(男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査) | | | | | | |
| 目標 | ①増加を目指します ②増加を目指します | 実績 | - | | | | |

2 事業の実施結果

| |
|---|
| 【フェスティバル2016&ネットワーク会議】 午前は声優・歌手・脚本家の佐久間レイさんの講演会、午後は、ワークショップ(6団体)とネットワーク会議を開催した。 【情報誌】 「eパートナーちば」を9月末と3月末(各15,000部)の年間2回発行した。 |
|---|

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

| ★視点1 企画への参画 | | | |
|---------------------|--|------|----|
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 1 | 事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか | ○ | |
| 2 | 企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか | ○ | |
| 3 | 性に起因する問題に配慮したか | — | |
| ★視点2 受益の公平性 | | | |
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 4 | 女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか | ○ | |
| 5 | 事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか | ○ | |
| 6 | 男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか | ○ | |
| ★視点3 男女共同参画社会形成への貢献 | | | |
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 7 | 固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか | — | |
| 8 | ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか | ○ | |
| 9 | 事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか | — | |

(2)改善点等

| |
|--|
| <改善した点> 【フェスティバル2016&ネットワーク会議】 事前申し込み不要・出入り自由な企画を増やし、イベントに参加しやすい工夫をした。 【情報誌】 幅広い世代、ニーズに合わせた内容を掲載することにより、あらゆる人への参画を啓発することができた。 |
| <課題・今後改善すべき点> 【フェスティバル2016&ネットワーク会議】 あらゆる人が参加しやすくなるよう魅力ある講演会やワークショップの開催等、更なる工夫をしていく。 【情報誌】 より幅広い世代に読んでもらえるように、掲載内容や紙面構成を更に工夫していく必要がある。 |

4 委員意見

| |
|--|
| フェスティバルに、気軽に参加できる工夫がされたことが集客向上に結び付いたと考えられるが、参加者増加のための更なる努力・工夫に期待したい。利用者の満足度を量るため、参加者の男女別、年齢別の比較ができるアンケートをとってほしい。情報誌についても、気軽に手にとってもらえるように内容の充実、工夫を続けてほしい。また、県民だよりの活用など、配布先・設置場所を増やし、地域差なく多くの県民に届くよう検討してほしい。 |
|--|

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》平成28年度事業 評価シート

施策コード 169

| | |
|-----|---------------------|
| 事業名 | 各種講座・研修会の開催 |
| 担当課 | 男女共同参画課(男女共同参画センター) |

1 事業の概要

| | | | | | | | |
|------------|--|--------|---|----------|-------|------|---|
| 基本目標 | Ⅲ | 基本的な課題 | 7 | 施策の方向 | ① | 施策番号 | 1 |
| 当初予算額計(千円) | 2,354 | | | 決算額計(千円) | 1,905 | | |
| 事業の概要・目的 | 男女共同参画社会の実現を目指し、県民意識の醸成や人材の養成を図るため、県民ニーズに対応した各種講座を企画運営する。 | | | | | | |
| 数値目標など | | | | | | | |
| 指標名等 | ①社会全体で男女の地位が平等となっていると思う人の割合(男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査) ②女性の権利に関する法制度の認知度(男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査) | | | | | | |
| 目標 | ①増加を目指します ②増加を目指します | 実績 | - | | | | |

2 事業の実施結果

【男女共同参画シンポジウム】内閣府男女共同参画週間関連事業として実施
 大阪教育大学准教授、小崎恭弘さんによる講演会と、「パパザカラ♪コチカラ♪ママザカラ♪ワークもライフも楽しく♪」をテーマにパネルディスカッションを行った。
 【女性リーダー養成講座】
 地域活動の場などにおいてリーダーとして活躍する人材育成を目的に講座を行った。(全5回)

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

| ★視点1 企画への参画 | | | |
|---------------------|--|------|----|
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 1 | 事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか | ○ | |
| 2 | 企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか | — | |
| 3 | 性に起因する問題に配慮したか | ○ | |
| ★視点2 受益の公平性 | | | |
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 4 | 女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか | ○ | |
| 5 | 事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか | ○ | |
| 6 | 男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか | ○ | |
| ★視点3 男女共同参画社会形成への貢献 | | | |
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 7 | 固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか | ○ | |
| 8 | ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか | ○ | |
| 9 | 事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか | — | |

(2)改善点等

<改善した点>
 「女性リーダー養成講座」は活動実績を問わず意欲のある女性に受講してもらえるよう受講要件の見直しを行い、人材育成機能の強化を図った。
 <課題・今後改善すべき点>
 各種講座の参加者を更に増やすため、今後も講座内容や開催日等の見直し、広報の方法等を工夫する必要がある。

4 委員意見

各講座の実施に対する工夫は評価できるが、各講座募集人数に対する実参加者数が50%くらいで、集客に結びついていないことが残念である。参加者数増加のために、企業への働きかけなどの募集方法の改善が必要である。
 また、講座参加者のフォローアップやその後の活躍の紹介など、事業の成果を把握し、講座内容や広報の充実に努めてほしい。
 さらに、講座の実施を年度単発にするのではなく、継続性を持たせることで定着を図ってほしい。

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》平成28年度事業 評価シート

施策コード 170

| | |
|-----|------------------------|
| 事業名 | ホームページ、メールマガジン等による情報発信 |
| 担当課 | 男女共同参画課 |

1 事業の概要

| | | | | | | | |
|------------|--|--------|-------|----------|---|------|---|
| 基本目標 | Ⅲ | 基本的な課題 | 7 | 施策の方向 | ① | 施策番号 | 1 |
| 当初予算額計(千円) | 0 | | | 決算額計(千円) | 0 | | |
| 事業の概要・目的 | 県及び県内市町村が主催する男女共同参画や女性に対する暴力に関するイベント、協働事業等の情報をメールマガジンに掲載、発行する。また、県内市町村が開催するイベント等を男女共同参画課ホームページに掲載する。 | | | | | | |
| 数値目標など | | | | | | | |
| 指標名等 | メールマガジン配信回数 | | | | | | |
| 目標 | 月2回発行 | 実績 | 月2回発行 | | | | |

2 事業の実施結果

登録者約1,300人に対し、メールマガジンを月2回発行した。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

| ★視点1 企画への参画 | | | |
|---------------------|--|------|--------------------------------|
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 1 | 事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか | | |
| 2 | 企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか | ○ | |
| 3 | 性に起因する問題に配慮したか | | |
| ★視点2 受益の公平性 | | | |
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 4 | 女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか | - | メールマガジンのシステム上、登録者の性別の把握はしていない。 |
| 5 | 事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか | - | メールマガジンのシステム上、登録者の性別の把握はしていない。 |
| 6 | 男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか | - | メールマガジンのシステム上、登録者の性別の把握はしていない。 |
| ★視点3 男女共同参画社会形成への貢献 | | | |
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 7 | 固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか | ○ | |
| 8 | ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか | ○ | |
| 9 | 事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか | | |

(2)改善点等

<改善した点>
 県内における男女共同参画に関する記事の掲載を増やす等、記事の充実を図った。また、メールマガジンのチラシを作成し、連携会議等のイベントで配布し、イベント参加者に登録を呼びかけた。

<課題・今後改善すべき点>
 男女共同参画に関する情報を周知するために、ニュースの掲載の拡充等、読者の数を増やす取組が必要である。

4 委員意見

ITを活用したホームページやメールマガジンによる情報発信は重要である。メールマガジン登録者の更なる増加が今後の課題であり、評価目標としてはどうか。誰もが簡単に、メールマガジン登録画面に行き着けるよう県のホームページをわかりやすくしてほしい。また、画像・動画・図・表等の活用による内容の工夫を期待する。

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》平成28年度事業 評価シート

施策コード 171

| | |
|-----|-----------------------|
| 事業名 | 関係機関等が行う研修会等の取組に対する支援 |
| 担当課 | 男女共同参画課 |

1 事業の概要

| | | | | | | | |
|------------|--|--------|---|----------|---|------|---|
| 基本目標 | Ⅲ | 基本的な課題 | 7 | 施策の方向 | ① | 施策番号 | 1 |
| 当初予算額計(千円) | 0 | | | 決算額計(千円) | 0 | | |
| 事業の概要・目的 | 男女共同参画について理解を深めるため、県職員・教職員に対する研修をはじめ、市町村や企業、各種団体などの依頼により、県職員を講師として派遣する。 | | | | | | |
| 数値目標など | | | | | | | |
| 指標名等 | ①社会全体で男女の地位が平等となっていると思う人の割合(男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査) ②女性の権利に関する法制度の認知度(男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査) | | | | | | |
| 目標 | ①増加を目指します ②増加を目指します | 実績 | - | | | | |

2 事業の実施結果

市町村や教育庁などから、講師派遣の依頼を受け、当課職員を講師として派遣した。延べ8回、377名(男性243名、女性134名)に対し、男女共同参画についての講義を実施した。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

| ★視点1 企画への参画 | | | |
|---------------------|--|------|----|
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 1 | 事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか | ○ | |
| 2 | 企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか | | |
| 3 | 性に起因する問題に配慮したか | ○ | |
| ★視点2 受益の公平性 | | | |
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 4 | 女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか | | |
| 5 | 事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか | ○ | |
| 6 | 男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか | ○ | |
| ★視点3 男女共同参画社会形成への貢献 | | | |
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 7 | 固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか | ○ | |
| 8 | ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか | ○ | |
| 9 | 事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか | | |

(2)改善点等

<改善した点>
 男女共同参画に関連して、「女性の活躍推進」や「ワーク・ライフ・バランス」「働き方改革」など最近、話題になっていることを盛り込むなど、受講者の実態と主催者の目的に合わせ、内容を変更した。

<課題・今後改善すべき点>
 受講者によっては、講師が一方向的に話す講義形式だと、話に飽きてしまう場合がある。受講者参加型の研修会のあり方について考えていく必要がある。

4 委員意見

22年度と比較すると、参加者数は2分の1以下である。原因を分析し、開催回数・参加者数の増加を目指してほしい。市町村からの依頼を待つ姿勢から、依頼のない市町村へアプローチしたり、出前講座として押し掛ける積極性を期待したい。また、新規採用時などの研修として行うことを検討してほしい。

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》平成28年度事業 評価シート

施策コード 172

| | |
|-----|-----------------|
| 事業名 | あらゆる人々への意識啓発の展開 |
| 担当課 | 男女共同参画課 |

1 事業の概要

| | | | | | | | |
|------------|--|--------|---|----------|----|------|---|
| 基本目標 | Ⅲ | 基本的な課題 | 7 | 施策の方向 | ① | 施策番号 | 1 |
| 当初予算額計(千円) | 49 | | | 決算額計(千円) | 85 | | |
| 事業の概要・目的 | 男女共同参画計画及びDV基本計画を未策定等の市町村において、男女共同参画啓発及びDV防止パネルの貸し出しを行い、住民意識の向上を図るとともに、市町村における男女共同参画施策の推進を支援する。 | | | | | | |
| 数値目標など | | | | | | | |
| 指標名等 | ①社会全体で男女の地位が平等となっていると思う人の割合(男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査) ②女性の権利に関する法制度の認知度(男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査) | | | | | | |
| 目標 | ①増加を目指します ②増加を目指します | 実績 | - | | | | |

2 事業の実施結果

・市町村へのパネル貸出
 柏市、流山市、九十九里町、横芝光町、四街道市、茂原市(6市町)
 ・毎年6月23日～29日の男女共同参画週間に合わせて、千葉そごう地階でパネル展を開催した。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

| ★視点1 企画への参画 | | | |
|---------------------|--|------|----|
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 1 | 事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか | | |
| 2 | 企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか | | |
| 3 | 性に起因する問題に配慮したか | | |
| ★視点2 受益の公平性 | | | |
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 4 | 女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか | ○ | |
| 5 | 事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか | - | |
| 6 | 男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか | ○ | |
| ★視点3 男女共同参画社会形成への貢献 | | | |
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 7 | 固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか | ○ | |
| 8 | ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか | | |
| 9 | 事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか | | |

(2)改善点等

<改善した点>
 第4次男女共同参画計画についてのパネルを新規作成することや、既存のデータについて更新し、内容の充実を図り、周知した。また、平成27年度に引き続き、市町村へのパネル貸出や男女共同参画週間事業としてそごう千葉店への展示を行った。

<課題・今後改善すべき点>
 住民の意識向上を図るため、市町村に対しての周知に力を入れていく必要がある。

4 委員意見

パネルは、内容が毎年更新され、工夫されたものとなっている。
 パネルの貸出について、関心が低い市町村への働きかけや貸出の広報の工夫などが必要である。また、より多くの方への周知を図るために、パネル内容のホームページへの掲載を検討してほしい。

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》平成28年度事業 評価シート

施策コード 173

| | |
|-----|---------------------|
| 事業名 | 関係機関との連携による専門講座 |
| 担当課 | 男女共同参画課(男女共同参画センター) |

1 事業の概要

| | | | | | | | |
|------------|--|--------|---|----------|-------------|------|---|
| 基本目標 | Ⅲ | 基本的な課題 | 7 | 施策の方向 | ① | 施策番号 | 1 |
| 当初予算額計(千円) | 施策コード169に含む | | | 決算額計(千円) | 施策コード169に含む | | |
| 事業の概要・目的 | 男女共同参画社会の実現を目指し、県民意識の醸成や人材の養成を図るための各種講座のほか、大学や地域団体等との連携により専門性・先進性の高い、社会経済情勢に対応した講座を開催する。 | | | | | | |
| 数値目標など | | | | | | | |
| 指標名等 | ①社会全体で男女の地位が平等となっていると思う人の割合(男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査) ②女性の権利に関する法制度の認知度(男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査) | | | | | | |
| 目標 | ①増加を目指します ②増加を目指します | 実績 | - | | | | |

2 事業の実施結果

○千葉大学と共催し、大人の造形教室のタイトルでモノづくりを媒介に子どもの表現を通してその子を知るきっかけの一つとして講演とグループワークを実施した。
 ○千葉県青少年協会と連携して、親子のコミュニケーションのあり方のタイトルで、家庭での子どもの心を育てる親子のコミュニケーションのあり方について精神科医による講演を実施した。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

| ★視点1 企画への参画 | | | |
|---------------------|--|------|----|
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 1 | 事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか | ○ | |
| 2 | 企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか | — | |
| 3 | 性に起因する問題に配慮したか | — | |
| ★視点2 受益の公平性 | | | |
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 4 | 女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか | ○ | |
| 5 | 事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか | ○ | |
| 6 | 男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか | ○ | |
| ★視点3 男女共同参画社会形成への貢献 | | | |
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 7 | 固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか | ○ | |
| 8 | ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか | ○ | |
| 9 | 事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか | — | |

(2)改善点等

<改善した点>

<課題・今後改善すべき点>

4 委員意見

連携先の関係機関に、本事業を周知することがより求められる。親子のコミュニケーション支援として、大変工夫された事業があったことは、評価できる。
 より参加者を増やすために、講演だけでなく、参加型の講座にすること、参加しやすい日時の設定、使いやすい託児の仕組み、単年度のみでなく継続して行うことなどを工夫してほしい。

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》平成28年度事業 評価シート

施策コード 174

| | |
|-----|-----------------------|
| 事業名 | 男女共同参画センターにおける相談事業の実施 |
| 担当課 | 男女共同参画課(男女共同参画センター) |

1 事業の概要

| | | | | | | | |
|------------|--|--------|---|----------|--------|------|---|
| 基本目標 | Ⅲ | 基本的な課題 | 7 | 施策の方向 | ① | 施策番号 | 2 |
| 当初予算額計(千円) | 19,785 | | | 決算額計(千円) | 18,854 | | |
| 事業の概要・目的 | 一人ひとりがそれぞれ自立し、自分らしく生きていけるように、女性及び男性の総合相談窓口として、一般相談及び専門相談を実施する。また、配偶者暴力相談支援センターとして、DV被害女性の相談・カウンセリングに応じる。 | | | | | | |
| 数値目標など | | | | | | | |
| 指標名等 | - | | | | | | |
| 目標 | - | 実績 | - | | | | |

2 事業の実施結果

| |
|--|
| <p>【女性のための総合相談】 のべ7,227件の相談に応じた。(電話相談6,487件(うちDV相談697件)、面接相談289件(うちDV相談191件)、カウンセリング390件(うちDV相談226件) 法律相談35件(うちDV相談29件)こころの相談(うちDV相談9件))</p> <p>【男性のための総合相談】 のべ789件の相談に応じた。(電話相談678件(うちDV相談36件)、カウンセリング111件(うちDV相談9件))</p> |
|--|

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

| ★視点1 企画への参画 | | | |
|---------------------|--|------|----|
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 1 | 事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか | — | |
| 2 | 企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか | ○ | |
| 3 | 性に起因する問題に配慮したか | ○ | |
| ★視点2 受益の公平性 | | | |
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 4 | 女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか | ○ | |
| 5 | 事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか | ○ | |
| 6 | 男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか | — | |
| ★視点3 男女共同参画社会形成への貢献 | | | |
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 7 | 固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか | ○ | |
| 8 | ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか | ○ | |
| 9 | 事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか | — | |

(2)改善点等

<改善した点>

<課題・今後改善すべき点>

4 委員意見

相談内容を把握・分析し、解決困難な事例等から、県の施策に反映してもらいたい。
 DV加害者からの相談件数が増加しているため、DV防止講座や更生プログラムの受講へと連携することを期待する。また、相談員のさらなるスキルアップを図ってほしい。

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》平成28年度事業 評価シート

施策コード 175

| | |
|-----|-----------------|
| 事業名 | 男女共同参画苦情処理制度の活用 |
| 担当課 | 男女共同参画課 |

1 事業の概要

| | | | | | | | |
|------------|---|--------|---|----------|----|------|---|
| 基本目標 | Ⅲ | 基本的な課題 | 7 | 施策の方向 | ① | 施策番号 | 2 |
| 当初予算額計(千円) | 179 | | | 決算額計(千円) | 23 | | |
| 事業の概要・目的 | 男女共同参画社会基本法等の趣旨に則り、男女共同参画に関する県の施策について、県民等から苦情の申出があった場合、千葉県男女共同参画苦情処理委員が公正・中立な立場から調査を行い、適切かつ迅速に処理する。 | | | | | | |
| 数値目標など | | | | | | | |
| 指標名等 | - | | | | | | |
| 目標 | - | 実績 | - | | | | |

2 事業の実施結果

28年度については申し出がなかった。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

| ★視点1 企画への参画 | | | |
|---------------------|--|------|-----------------|
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 1 | 事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか | | |
| 2 | 企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか | | |
| 3 | 性に起因する問題に配慮したか | | |
| ★視点2 受益の公平性 | | | |
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 4 | 女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか | - | 実績がないため評価ができない。 |
| 5 | 事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか | - | |
| 6 | 男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか | - | |
| ★視点3 男女共同参画社会形成への貢献 | | | |
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 7 | 固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか | | |
| 8 | ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか | | |
| 9 | 事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか | | |

(2)改善点等

<課題・今後改善すべき点>

事業の内容について、一層の周知を図ることが必要である。ホームページへの掲載、各種会議等での周知だけでなく、県民にとってわかりやすい広報に努める。

4 委員意見

ここ数年の苦情処理件数の実績から、より一層の広報の工夫をしてほしい。

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》平成28年度事業 評価シート

施策コード 176

| | |
|-----|--------------------|
| 事業名 | 千葉県男女共同参画推進連携会議の充実 |
| 担当課 | 男女共同参画課 |

1 事業の概要

| | | | | | | | |
|------------|---|--------|---|----------|-----|------|---|
| 基本目標 | Ⅲ | 基本的な課題 | 7 | 施策の方向 | ① | 施策番号 | 3 |
| 当初予算額計(千円) | 457 | | | 決算額計(千円) | 335 | | |
| 事業の概要・目的 | 県と連携しながら民間における男女共同参画の自主的な取組を推進することを目的に、産業・地域・教育分野における県域組織で構成された男女共同参画推進連携会議により、県と団体・団体相互の意見・情報交換や研修会、講演会等を開催するとともに、団体及び参加団体へ幅広く働きかけを行う。 | | | | | | |
| 数値目標など | | | | | | | |
| 指標名等 | - | | | | | | |
| 目標 | - | 実績 | - | | | | |

2 事業の実施結果

子育てや女性活躍、ワークライフバランスなどをテーマとして、全体会1回、産業部会2回、地域部会1回、教育部会1回、地域・教育合同部会1回を開催した。延べ参加団体数は68団体、参加者数は417名であった。
 参加者の満足度は非常に高く、事後アンケートでは、全ての参加者が「非常に役に立った」「役に立った」と回答した。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
|---------------------|--|------|----|
| | | | |
| 1 | 事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか | ○ | |
| 2 | 企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか | ○ | |
| 3 | 性に起因する問題に配慮したか | | |
| ★視点2 受益の公平性 | | | |
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 4 | 女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか | ○ | |
| 5 | 事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか | ○ | |
| 6 | 男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか | ○ | |
| ★視点3 男女共同参画社会形成への貢献 | | | |
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 7 | 固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか | ○ | |
| 8 | ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか | ○ | |
| 9 | 事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか | ○ | |

(2)改善点等

<改善した点>
 各部会への参加者数を増やすため、構成団体を訪問したり、電話をかけたりの参加呼びかけを行った。また、ホームページを活用しての広報やチラシの工夫などを行った。
 <課題・今後改善すべき点>
 参加者の満足度は高い一方で、参加者数が減少傾向である。広報活動の充実や各団体への呼びかけなどをさらに工夫する必要がある。加入団体への訪問活動も継続して行っていく必要がある。

4 委員意見

各部会への参加者が少ないため、加入団体の傘下の団体並びに、一般県民への広報の強化や開催日時設定の工夫などを行い、事業を育てていくことを期待する。
 また、各部会の自主性・独自性をいかに高めていくかが課題である。

重点的取組 (6)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進
 《第4次千葉県男女共同参画計画》平成28年度事業 評価シート

施策コード 177

| | |
|-----|---------------------------|
| 事業名 | 千葉県男女共同参画社会づくりネットワーク会議の充実 |
| 担当課 | 男女共同参画課(男女共同参画センター) |

1 事業の概要

| | | | | | | | |
|------------|---|--------|---|----------|-------------|------|---|
| 基本目標 | Ⅲ | 基本的な課題 | 7 | 施策の方向 | ① | 施策番号 | 3 |
| 当初予算額計(千円) | 施策コード168に含む | | | 決算額計(千円) | 施策コード168に含む | | |
| 事業の概要・目的 | 県内の男女共同参画社会を目指す各団体組織力を高め、異分野で活動する団体が、協力し合いながら、男女共同参画社会づくりに関わる団体間のネットワークを構築する。 | | | | | | |
| 数値目標など | | | | | | | |
| 指標名等 | - | | | | | | |
| 目標 | - | 実績 | - | | | | |

2 事業の実施結果

| |
|--|
| 男女共同参画センターフェスティバル2016&ネットワーク会議 実施日:平成28年8月7日(日) フェスティバルと同時開催とし、本日のフェスティバルで感じたこと・良かったことについてワールドカフェで意見交換を行い、民間団体と県民の交流を図った。(75名参加) |
|--|

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

| ★視点1 企画への参画 | | | |
|---------------------|--|------|----|
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 1 | 事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか | ○ | |
| 2 | 企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか | ○ | |
| 3 | 性に起因する問題に配慮したか | — | |
| ★視点2 受益の公平性 | | | |
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 4 | 女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか | ○ | |
| 5 | 事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか | ○ | |
| 6 | 男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか | ○ | |
| ★視点3 男女共同参画社会形成への貢献 | | | |
| No. | チェック項目 | チェック | 説明 |
| 7 | 固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか | — | |
| 8 | ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか | — | |
| 9 | 事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか | — | |

(2)改善点等

<改善した点>
 より多くの人と多様な意見交換ができるように、意見交換の方法にワールドカフェ形式を取り入れた。

<課題・今後改善すべき点>

4 委員意見

ワールドカフェ方式を取り入れる等、意見交換で交流方法が工夫され、参加者から好評であったことは評価できる。ネットワーク会議の参加にとどまらず、その後の交流と参加団体の自主的な事業展開を目指してほしい。